愛知県トラック協会の災害対策

令和2年11月20日

一般社団法人
愛知県トラック協会

協会の概要

名　称 ： 一般社団法人　愛知県トラック協会

所在地 ：愛知県名古屋市瑞穂区新開町12－6
　　愛知県トラック会館

設　立 ：トラック運送事業者相互信頼のもとに団結を強め、業界の発展と公共の福祉に寄与することを目的として、昭和23年に「愛知県貨物自動車協会」として設立。

会員数：運送事業者　2，652社（令和2年11月現在）

体　制 ：専務理事1名、常務理事3名、職員63名

拠　点 ：愛知県トラック会館（本部・5支部）
　　トラック輸送サービスセンター　県内4ヵ所（4支部）
　　中部トラック総合研修センター

災害時緊急輸送体制の整備

国・愛知県や名古屋市等の地方公共団体・全日本トラック協会と緊密に連携した輸送体制の確立

国・地方自治体・全ト協との連携

平成16年3月	愛知県	災害発生時における物資等の緊急輸送に関する協定書
平成23年4月	名古屋市	災害時における物資の輸送等に関する協定書
平成26年8月	全ト協	国の災害対策基本法に基づく指定公共機関に指定 大規模災害発生時の緊急物資輸送対応標準マニュアルの策定

上記以外に豊橋市(平成8年／東三支部)、小牧市(平成19年／尾東支部)、北名古屋市(平成14年)
日本赤十字(平成17年)、東海市(平成21年)、南知多町(平成22年)とも締結

愛ト協における動き

平成28年10月　新しい中部トラック総合研修センターの竣工
平成28年10月　愛知県との協定書を改定(研セ広域指定)
平成29年　6月　研修センターが県の広域物資輸送拠点に指定
平成29年10月　第1回 災害対策委員会(若杉委員長)を開催

平成29年度より毎年　愛知県・豊田市と災害物流訓練に参加
毎年9月「防災の日」を中心に各支部にて総合防災訓練に参加

平成31年　3月　事業継続計画(BCP)の策定
令和 元年　6月　緊急輸送車両依頼システムの運用実験開始

今後

令和元年度以降、BCPの補完及び防災設備の増強、ならびに関係マニュアルの整備等を図る。

愛知県内の広域物資輸送拠点（５拠点）及び配分先市町村

緊急支援物資輸送の流れ

行　政

指定公共機関[日本通運・ヤマト運輸・西濃運輸・佐川急便・福山通運]

都道府県トラック協会が自治体の依頼により手配

調達 → 1次輸送 → 2次輸送 → 3次輸送

プッシュ型

A政府調達物資

内閣府

発注 → 農水省

発注 → 食品メーカー

輸送依頼 → 国土交通省

輸送依頼 → 全日本トラック協会

輸送依頼

運送事業者

発注 → 経産省・消防庁 厚労省等

発注 → その他メーカーなど

輸送依頼

運送事業者

大型トラック（11t車）

物流事業者の倉庫施設など

①都道府県　広域物資拠点

4t車

大型トラック（11t車）

自衛隊車両

自治体庁舎、競技施設、イベント施設など

②市町村自治体集積所

軽トラック

ワゴン車

2t車

4t車

自衛隊車両

③各避難所

学校、集会所など

プッシュ or プル型

B一般提供物資

愛知県、名古屋市など

都道府県トラック協会が自治体の依頼により手配

物資提供申し出 →

← 物資受入可否回答／物資拠出要請

被災地の自治体
都道府県　市区町村　避難所

大型トラック（11t車）

4t車

2t車

軽トラック

災害時の取り組み　－緊急輸送の実績－

主な緊急輸送の実績

災害名	発生年月	輸送物資等
阪神・淡路大震災	平成7年1月	食料品、日用品、毛布など
「ナホトカ号」重油流出事故	平成9年1月	重油回収用ドラム缶など
東日本集中豪雨	平成10年8月	日用品、毛布など
有珠山火山活動	平成12年3月	食料品、日用品など、
三宅島火山活動	平成12年6月	簡易トイレ、カーペットなど
東海地区豪雨　愛ト協90台	平成12年9月	食料品、日用品、毛布など
宮城県北部連続地震	平成15年7月	食料品、日用品、毛布など
十勝沖地震	平成15年9月	毛布、日用品など 製油所火災消火剤
新潟県中越地震	平成16年10月	食料品、毛布など
新潟県中越沖地震	平成19年7月	食料品、毛布など
東日本大震災　愛ト協52台	平成23年3月	食料品、日用品、毛布など
九州北部豪雨	平成24年7月	食料品、毛布、土のうなど
広島土砂災害	平成26年8月	毛布、マット、土のうなど
関東・東北豪雨	平成27年9月	食料品、毛布など
熊本地震　愛ト協1台	平成28年4月	食料品、毛布など
平成30年7月豪雨	平成30年7月	食料品、日用品、土のうなど

東日本大震災（平成23年）における緊急輸送

トラック車両数	食料品	飲料水	毛布
約1万600台 （国:1,925台、 都道府県:8,702台）	1,898万食	460万本	46万枚

延べ輸送先数	岩手県	宮城県	福島県	茨城県	その他
2,032地点	538	793	646	40	15

※国の1,925台分の輸送先数

熊本地震における緊急輸送

トラック車両数	搬送物資
約1,270台 （国:約230台 都道府県:約1,040台）	食料品、飲料水、毛布、簡易トイレ等

平成30年7月における緊急輸送

トラック車両数	搬送物資
266台 （国:67台、都道府県:199台）	食料品、飲料水、ダンボールベッド 等

緊急輸送車両依頼システムについて

システムの概要と仕組み

anpi call 安否コール ad technica

本来は「従業員」や「家族」の災害時の安否確認サービスだが、カスタマイズすることで緊急輸送車両依頼システムに転用している。独自開発するより、はるかに低コストで東日本大震災や熊本地震でも問題なく稼働した実績、毎年のバージョンアップ、プライバシー保護、大手主要企業の採用実績等を勘案して比較検討し導入した。

〔参考〕中部トラック総合研修センター

愛知県のほぼ中央に位置し、東名高速道路「東名三好インター」から近く、

名古屋市と豊田市を結ぶ 国道153号線へのアクセスも容易なロケーションに所在している。

また、有事の際には愛知県が広域物資輸送拠点の開設・運営を行う。

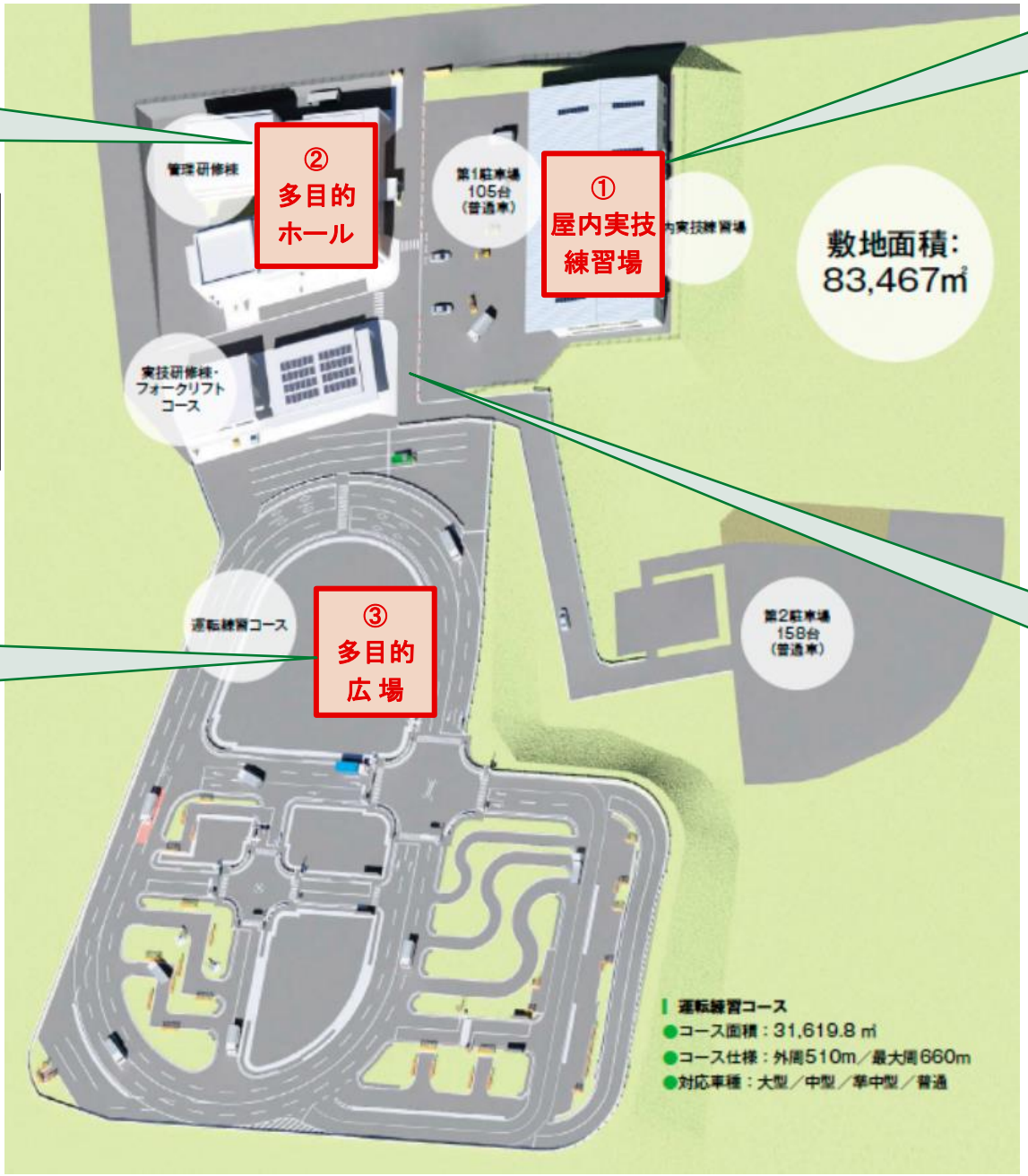
Photo　管理研修棟（事務局オフィス／第1～第6 研修室／多目的ホール）

〔参考〕中部トラック総合研修センター

愛知県みよし市福谷町西ノ洞 21－127

②管理研修棟の多目的ホールが、『物資拠点対策本部』になる。

③コース内の多目的広場は、緊急時の『ヘリポート』として利用可能。



①屋内実技練習場が災害時の『物資輸送拠点』になる。

④施設・設備は、『省エネ・省資源』に配慮している。

・施設内の照明はLED（発光ダイオード）を積極的に利用し、また、太陽光発電も導入している

ご清聴ありがとうございました。

一般社団法人
愛知県トラック協会

Official WebSite ☞ https://ssl.aitokyo.jp